

## 答申書（案）総論について

## 各委員からの個別意見

## ①答申書2ページ「2. 総論」の3項目の順番について

順序が（現状の）3つ目→2つ目→1つ目、に並べ替えたほうがいいかな、と思いました。

現行の1つ目が他のに比べて抽象度が高く、そのアンバランスが1つ目に置いておくと思目立ちしているように感じました。

行政の役割にも係る内容なので最後がいいかなと考えます。

②冒頭の文章の7行目「一般町民として」一般を削除。もしも入れるなら、二宮町に住む、など入れたらどうか？（住民目線で、というのが大事かと思います）

## 2.総論、

7行目

「インクルージョンの精神を持ってまちづくり（を）推進する・・・」

10行目

「従来型の取り組みを（踏まえた）新たな関係性の構築を目指す」

ここはほんの少しなのですが、「踏まえた」に違和感がありました。従来を踏まえたら大して変化がないような・・・例えば（超えた）などにした方がしっくりくる気がしています。

## 【1. 持続可能性について】

・「ワンストップではなくノンストップ」がわかりにくいように感じました。解決策としては、いきなりカタカナで表現より前にまず日本語で表現すると良いのではないかと思います。

例：窓口を一箇所に集約した行政サービスの形（ワンストップ）ではなく...

さてこれをしたとしても、下記のような疑問を持ちました。

この文が、続く「単にデジタル化ではなく本質的なDX」と同じ構造になっていることを考慮すると、どうやら「ワンストップ」は否定的な意味で使われているように読み取れる。一般的に、ワンストップは利用者から見てメリットとして扱われるが否定的な意味で使う意図を説明してほしい

「ワンストップ」と「ノンストップ」は排他的な関係ではなく、「ワンストップかつノンストップ」も実現し得る。一方「単なるデジタル化」と「本質的なDX」は両立し得ない。よって「ワンストップではなくノンストップであったり、単にデジタル化ではなく本質的なDXであったり」と読むと、自分が書き手の意図を理解できているのか不安になる（多分できていない）。恐らく、「ワンストップではなくノンストップ」の方を吟味するほうが良い気がするがどうか

## 【2. インクルージョンについて】

・「インクルージョン」もまず日本語での定義がほしいです。

・第2文は、見た目こそ分量はありますが、実はここで新たに付け加わっている情報は少ないです。要するに、子育てと福祉にインクルージョンの考え方を適用するところが新しいのではないかと思います。例えばの文例：

二つ目として、まちづくりを、個性や価値観の多様性を認め合う精神（インクルージョン）を持って推進する必要があります。インクルージョンは福祉や教育の分野で浸透しつつある概念ですが、二宮町ではこれらに加えて、子育てや防災の分野についても社会や地域を挙げた取り組みを模索していきます。

### 【3. 二宮らしさを生かした施策横断型】

#### ・「二宮モデル」:

他の委員の提案が元となっていると思いますが、活字になっているとインパクトがあります。名前をつけることで意識されやすくなるし、よいことだと思います。

#### ・環境施策「二宮モデル」:

ここだけ読むと、「環境施策『二宮モデル』の」中身がわからないことが気になってしまいました。実際には、どこをモデル化できるかをこれから見極めていくものなので中身がわからないことは仕方ないことですが、説明が足りないと思われるので損しないようにしたほうが良いと思いました。他の委員の言葉を借りて「みんなが幸せを感じながら温暖化対策に取り組む『二宮モデル』」と書くこの疑問はなくなりますが、これはあくまでも個人の意見なのでここで書くのは早いように思います。落とし所として、「環境保護施策『二宮モデル』」とすると少し引っかかりは軽減される気がしました。

#### ・「積極的に推進」:「積極的に」はいらないかなと思いました

### 【3つの柱に共通したフィードバック】

#### ・いずれも、第一文のおかげでとても読みやすく感じました

・審議会委員は細かいところを指摘することを期待されていないと思うので大変恐縮なのですが、英字が日本語フォントになっているのが気になりました。英字は「Times New Roman」などの英字フォントを指定することをおすすめします。

具体策が加わり、一般の方も読みやすい文面になったと思います。

### 前期基本計画素案修正版について

#### 各委員からの個別意見

※意見なし

### その他について

#### 各委員からの個別意見

総合計画の内容にもう少しかかわりたかったです。前期基本計画は読みやすく改訂されたと感じます。